

1年で一番、昼間が長い日 ～ 6/21(月)夏至の日 ～

6月21日(月)は、「夏至の日」です。北半球の中緯度【東京：北緯35°】の温帯地域にある日本は、春夏秋冬という豊かな季節があります。季節の中心となるのが、春分、夏至、秋分、冬至の4つです。もともとこれらは1年間を24の季節に分ける「二十四節季(にじゅうしせつき)」という中国大陸での季節の呼び名です。

季節は「立春」から始まり、春の「雨水」「啓蟄」「春分」「清明」「穀雨」、夏に入り「立夏」「小満」「芒種」と続き10番目が「夏至」となります。現在は、天球上の横道(こうどう：太陽が星座間を通過する道)の位置から、春分点の0°から、ちょうど90°になる夏至点を太陽が通過する時間のある日を「夏至の日」として、天文台が計算して決めています。だいたい6月21日か22日で、今年は6月21日12時32分に通過するそうです。



夏至の頃 春・秋分の頃 冬至の頃
【日の出の位置】

● 1年のうちで、昼間が一番長い日

この日は1年のうちで、北半球では一番昼の長さが長くなる日(南半球では一番短くなる)です。ただし、緯度(北緯)により異なり、東京(東経35°)では14時間35分、札幌は15時間23分、那覇は13時間47分です。

	日の出	日の入り	昼の長さ
札幌	3:55	19:18	15時間23分
東京	4:25	19:00	14時間35分
那覇	5:35	19:25	13時間47分

北欧や北極圏で、北緯がおよそ66.6°以上の高緯度地域では、一日太陽が沈まない「白夜」になります。

● 1年のうちで、太陽の南中高度が一番高く、日差しが一番強くなる日

この日は、昼が長いだけではなく、太陽の南中高度(一番高くなる時の高さ)が一番高くなる日でもあり、太陽から地表面に届く日差しも一番強くなる日です。

● 1年のうちで、日の出・日の入りの位置が一番北よくなる日

この日は、太陽の日の出・日の入りの位置がともに、真東と真西より、一番北よくなる日です。

？ 上の3つの原因は为什么呢？

※ 地球の公転に関係していますが、詳しくは3年生の理科で勉強します。

？ ところで、この時期が1年のうちで一番日差しが強く、一番昼が長いので、一番暑い時期になるようですが、実際には夏前です。それは何故でしょうか？

※ 教科書には載っていないようですので、ちょっと考えて見ましょう。青い星「地球」だからこそですね。

？ 赤道直下の国では、昼と夜の長さは、一年間でどう変化するのだろうか？

①【関連サイト】 国立天文台 暦計算室 用語説明のHP
<https://eco.mtk.nao.ac.jp/koyomi/faq/24sekki.html>

②【関連動画】「太陽をみる 太陽の1年」10min ボックス NHK for School
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005100007_00000

